

$\text{pronyA/B/C} \succ \text{pronyA/B/D}$

＜直交する2本の直径の中心と端点の関係＞

prontyA/B/Cの3つの円において、c1とa3、c2とa4、c3とa1、c4とa2を結ぶ線分はboを通り、c0とa1.a2.a3.a4を結ぶ線分は、b1.b2.b3.b4を通る。同様にprontyA/B/Dの3つの円において、b1とa3を結ぶ線分はd0を通り、b0とa1を結ぶ線分はd1を通る。この2組の関係は相似的であり、4つの円A/B/C/Dは2つの相似関係の複合体として、連続した比例空間を作り出す。

プロニティーの関係にある4つの円A.B.C.Dにおいて、円Aと円Bの中心が(x)離れると、円Cの中心は円Bの中心から(x)にC/Aをかけた距離となり、円Cの中心は円Bの中心から(x)にD/Aかけた距離となる。

a0.b0=x	a0.b0=76.61=x
b0.c0=xC/A	b0.c0=76.61*120/40=229.83
a0.c0=xC/B	a0.c0=76.61*120/30=306.44

a0.b0=x	a0.b0=76.61=x
b0.d0=xD/A	b0.d0=76.61*17.14/40=32.82
a0.d0=xD/B	a0.d0=76.61*17.14/30=43.76

球Cの体積を1とすると、球Aの体積比は1/27、Bは1/64、Dは1/343となり、球Cの直径に対するそれぞれの直径比の3乗 $\{(C/A)^3=27\}$ が対応する(904778.7/33510.3=27)。又、面積比は直径比の2乗 $\{(C/A)^2=9\}$ が対応する(11309.7/1256.6=9)。

$$(C/D)^2 = 7^2$$